

「遅刻をしない」

本校の教育目標に「時を守り・場を清め・礼を正す」とあります。簡単に言えば「遅刻をしない・掃除をきちんとする・相手の目を見て大きな声でいさつをする」ということになります。それと関連する話になりますが、先生がある大企業の人事担当から聞いた話ですが、その企業では社員を採用するにあたって

- ① 遅刻をするタイプの人
- ② 掃除など身の回りの整理ができないタイプの人
- ③ 人の目を見て挨拶ができないタイプの人

の 3 つのタイプの人がいれば、絶対に採用しないタイプの人がいます。どのタイプの人も社会人としては大きな欠点があると思いますが、その中でも特に困るタイプがあるのです。どのタイプの人か分かりますか？

答えは①の「遅刻をするタイプの人」です。

何故だか分かりますか？

遅刻をする人はあまり成長が期待できない人だからだそうです。遅刻する人は「少し位遅れてもいいだろう」「この位でいいだろう」と自分勝手に基準やルールを決めて行動する人が多いそうです。遅刻が多い人は心当たりがないですか？

そうなると、いくら大切なことや新しいことを教えても素直にそれをせずに、しんどくなったり、面倒くさくなれば「この位は」と自分のルールや基準で努力をやめてしまうのです。企業としては伸びない人をわざわざ給料を払ってまで採用しようとは思いませんよね？

又、遅刻をする人は高校や企業を途中でやめるタイプの第 1 位だそうです。途中でやめる人も採用したくないですよね？

先生の長い教師生活を振り返ってみても、遅刻の多かった生徒はいつまでたってもだらしない生活を続けることが多く、成人式後の同窓会などでもあまり良い噂は聞かなかったケースが多いです。

どうですか？たかが遅刻ですが、これから的人生の足を引っ張る大きな原因となるのです。

遅刻の多い人は中学校の間にこの悪い癖を直してください。副校长先生からのお願ひです。